

意外とすごい！三芳町。

日本でたった8地域！日本農業遺産認定

人工的に木を植え林を作り、その落ち葉を集めて堆肥にし、畑の肥料として活用する「落ち葉堆肥農法」。江戸時代からずっと町で受け継がれているこの農法が今年、日本農業遺産に認定されました。



体験落ち葉掃きで楽しみながら歴史を肌で体感。集めた落ち葉は2年程度で土のような形に。

日本一の広報みよし

町の情報を伝える「広報みよし」。2015年に全国自治体の広報を競う全国広報コンクールで日本一となる内閣総理大臣賞を受賞。三芳町が魅力的で、町を想う住民の皆さんがいるおかげで、高い評価をいただいています。



スマホをいち早く活用。AR（拡張現実）や日本初の7言語化（PCでも可）にも取り組んでいます。

本の貸出冊数が埼玉県で一番！

平成28年度県内市町村立図書館の人口1人当たり年間図書貸出冊数の平均は5.44冊。対して三芳町は倍以上の11.20冊で16年連続で県内1位。町では昨年から「よみ愛・読書のまち宣言」。毎月23日を読書の日としました。



子どもの読み聞かせやビブリオバトルなど、幅広い年代が読書好きになる取り組みを実施。

12月3日
コピスで
公演!

竹間沢車人形保存会

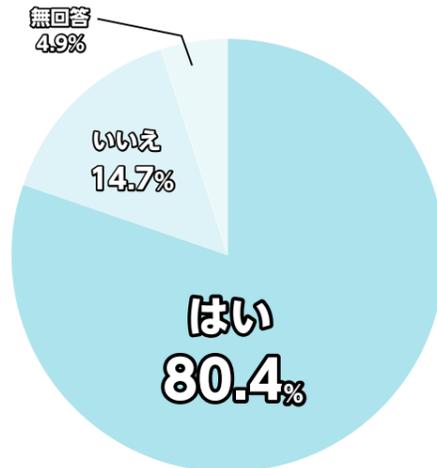


竹間沢の前田家に伝えられている人形芝居。箱車に腰かけ、人形を一人で操ります。車人形は竹間沢車人形を含めて日本に3地域のみ現存。貴重な伝統芸能が私たちの暮らす三芳町にあることは誇りではないでしょうか。現在、12月3日の公演に向けて猛練習中です。

竹間沢車人形保存会代表 前田 益夫 さん



三芳町に住み続けたいですか？



回答者数 886人

8割以上の住民が「はい」

平成26年度に実施した住民意識調査で「あなたは、これからも三芳町に住み続けたいと思いますか」とアンケートを行いました。その結果、全体で8割以上の住民が「はい」と回答。年齢別では70歳代が88.5%と一番高く、20歳代は54.3%で一番低い結果に。一方、16歳～19歳では87.9%と高く、三芳町で生まれ育った若い世代に、ふるさとへの愛着があることが読み取れます。

町内小中学生に聞きました！

三芳町が好きなのは？

「三芳町が好き」と答えた1,208人のうち、好きな理由の一番は「友だちや近所の人親切」で41.3%、続いて「緑などの自然が豊か」が39.9%という結果に。「ヒト」が小さなころから魅力的と感じるほど、三芳町には優しい人にあふれています。

もたちにも見せてあげたいと願うようになり「竹間沢ほたる育成会」を設立。ホタルが舞うこぶしの里の清掃など、自然環境を整備。こぶしの里に一日に千人を超える人が町内外からホテル観賞に訪れる町の観光スポットになりました。

三芳町が愛されている理由。三芳町のことを「好き」な人が多いからかもしれません。

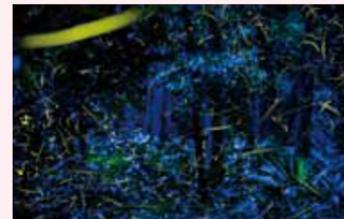
まちを元気にする原動力

三芳町のヒト・コト。

私たちが暮らす三芳町をもっと元気にしたいから……。何気ない日常のなかに、三芳町への想いが町内にあふれています。



トカイナカ三芳町の強み



こぶしの里を舞うホタル

自然豊かな故郷を肌で感じてもらうため、毎年地元の竹間沢小学校の児童たちにホタルの幼虫を放流してもらっています。子どもたちは未来の宝。小さなころから、ふるさと三芳町の自然や魅力にふれて、大人になっても「三芳町は誇り」と思ってもらえるように、愛着を持ってほしいと思います。東京から一番近い町にも関わらず、ホタル観賞ができる大きなメリットを活かして、三芳町を多くの人に知ってもらいたいです。

子どもたちに自然の大切さを



竹間沢ほたる育成会会長 古寺 貞之 さん



無限の可能性を秘めた施設



農業センターの利活用

農業センターの活用方法を5回の会議で検討しました。町の特産品販売、休日のみ直売所にするなどの意見が出た一方、三芳町や特産品の認知度が低いという声がありました。今、三芳町の若い農家の人たちが積極的に町を盛り上げようと頑張っています。その後押しをしながら、上富の人だけではなく、他の地域の人たちも農業センターを利活用していただき、三芳町をもっと盛り上げて、元気にしていきたいですね。

若い力を支えて地域を元気に



（仮称）富のまちづくり協議会 準備委員会委員長 早川 忠男 さん



三芳町を盛り上げたい！



藤久保中央通り商店会

マミーマート周辺を中心にした藤久保中央通り商店会は現在24会員。地域のことを考え、ゴミ拾いや花いっぱい運動、町内の保育園児が書いた絵を店舗に展示する「商店街ギャラリー」を行い、地域に愛着を持てるような試みも行っています。一方、高齢化による地域のケアが必要です。小さな商店会ならではの身近な存在という強みを活かし、地域コミュニティ作りのお役に立てるように商店会一丸で頑張ります。

人情味あふれる商店街です



藤久保中央通り商店会 鈴木 孝児 さん

町を元気にする商店会

鶴瀬駅から南西に約900mのマミーマート三芳店を中心に店舗が並ぶ藤久保中央通り商店会。「我こそは、元気な商店会である」と自信をもって宣言し、2年前に埼玉県から黒おび商店街として認定されました。昔ながらの店舗が多く、人情味あふれる皆さんが迎え入れてくれます。三芳町内で活動している唯一の商店会。まだまだ元気です。

施設活用で地域活性化

昨年末から改修工事が行われた上富2区の農業センター。集会所としての機能を残しながら、地域活性化の拠点の一つとして活用できないか検討するため、地域住民などからなる「（仮称）富のまちづくり協議会 準備委員会」を設立（現在は解散）。この会がきっかけとなり、のちに住民手作りの「カミトメ マルシエ」に繋がりました。

町を照らすホタルの光

田園地帯が広がり、夏はホタルの光を楽しむ。工業地帯が広がる竹間沢東の約50年前の思い出。ホタルの光を今の子ども